

ワンヘルス（One Health）とは、「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と捉え、これらを一体的に守ろうという考え方で、世界的にその取組が進められています。

新型コロナウイルス感染症をはじめとした新興感染症の多くは、人と動物の双方に感染する人獣共通感染症であり、人の感染症の約6割を占めると言われています。

この人獣共通感染症は、森林開発など自然環境へ負荷を与える行為、またこれらに伴う地球温暖化や生態系の劣化、そして、人と動物の関係性の变化など、様々な要因が複雑に関係し、元々野生動物が持っていた病原体が人へ感染するようになったと言われています。

このように、様々な分野にまたがる問題に対応するために重要とされているのが、人と動物の健康と環境の健全性を1つと捉え、一体的に守っていくワンヘルスの取組です。

○ Topics : 用語解説のコーナー



いきなり難しい言葉がたくさん！なんだが分からなくなってきたよ……

大丈夫。難しい言葉はなるべく分かりやすく解説していくよ！



・人獣共通感染症ってなに？

人と人以外の動物で感染・伝染する、人と動物に共通の疾病または感染症のことだよ。新型コロナウイルス感染症のほか、SARS、MERS やエボラ出血熱なども人獣共通感染症の一つだよ。

人獣共通感染症が発生する原因の一つとして、森林伐採などによって人が野生動物の生息域に入ってしまったことで、野生動物の持つ病原体が人に感染しやすくなったと言われているよ。

人と動物の健康と環境の健全性は密接につながっていることから、感染症を防ぐためには、人・動物・環境を「一つの健康（One Health）」として、一体的に守ろうという考え方＝ワンヘルスが大切ということだね。

■ ワンヘルス推進行動計画について 策定の背景

2016（平成28）年11月、北九州市で開催された「第2回世界獣医師会 - 世界医師会 “One Health” に関する国際会議」において、ワンヘルス実践の基盤となる「福岡宣言」がまとめられ、それ以降、福岡県では、ワンヘルスの推進に取り組んできました。

2020（令和2）年12月、議員提案により、全国で初めてとなる、ワンヘルス実践の基本方針などを定めた「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、また、今年10月には、ワンヘルスの取組の実効性を確保するため、県や市町村、事業者、県民が担うべき責務などを定めた「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例」を制定しました。これらの条例に基づき、県のワンヘルス推進に関する施策または取組を体系的に整理した「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を進めています。この行動計画では、ワンヘルスを実践するための「7つの柱」を設定しています。